

にかほ市の概要と取組みの紹介



平成17年10月1日、秋田県内で仁賀保町、金浦町、象潟町の3町が合併して誕生。

秋田県南西部に位置し、気候は県内で一番温暖で、南に鳥海山、西に日本海を臨む、山と海に抱かれた風光明媚なまちです。



総面積	耕地面積	人口	世帯数	高齢化率
241.13km ²	37.00km ²	22,585	9,337	40.1%

人口・世帯数はR5.10.31現在

最近の動向など

- 平成28年、日本ジオパークネットワークに「鳥海山・飛島ジオパーク」として認定（にかほ市含む3市1町）
- 令和4年、環境省から「トキとの共生を目指す里地」に選定

主な農産物・名産品など

米、ねぎ（国の指定産地）、いちじく（「大竹いちじく」でGI登録）、花き、そば、カナカブ、天然岩ガキ、寒鰯、ジャージー乳製品、かりんとう、日本酒



にかほ市マスコット
「にかほっぺん」

環境保全型スマート農業の連携推進 5者連携協定締結



令和4年5月、にかほ市と民間4者で、令和7年度までに自動抑草ロボット（アイガモロボ）等を活用した環境保全型スマート農業による営農モデル構築を目指す連携協定を締結

取組者	取組内容
(株)権右衛門	市内ほ場内でのスマート農機を検証
TDK(株)	環境負荷の低い稲作モデルの構築
井関農機(株)	スマート農機や関連技術の提案
有機米デザイン(株)	アイガモロボの開発
にかほ市	市内での環境保全型スマート農業の推進



写真:ほ場を航行するアイガモロボ

にかほ市はTDK(株)創業者の出身地



齋藤憲三(1898～1970)

TDK(株)創業者の齋藤憲三は、にかほ市平沢の出身で昭和10年に東京電機化学工業(株)(現在のTDK(株))を設立。「農業と他産業(工業)を結びつけることが農家を豊かにする＝農工一体」を唱え、農家の次男三男の雇用の場を作るため故郷に工場を建設。衆議院議員として科学技術庁の創設にも貢献した。

にかほ市（秋田県にかほ市）

取組メニュー

グリーンな栽培体系への転換サポート



協力機関

にかほスマート農業研究会、T D K 株式会社、
有機米デザイン株式会社、県

品目

水稻

背景・課題

にかほ市の農業は稲作が中心であるが、水田耕地面積3,005haに対し、無農薬栽培の水稻面積は12.3ha(約0.4%)にとどまっている。有機農業等は、慣行栽培と同等の収量や品質を得ることが難しいほか、除草や病害虫防除に要する労力が課題となっている。

成果目標

水稻における有機栽培等の拡大

取組の内容

民間企業や市内の農業者と共同し、自動抑草ロボット（アイガモロボ）等を用いた栽培体系をマニュアル化するとともに、実証ほ場で収穫した有機栽培米等を学校給食に提供し、消費者の理解促進を図る。



検討するグリーンな栽培体系

- ①化学農薬の使用量低減・省力化：自動抑草ロボットによる雑草抑制及び作業の省力化
- ②化学農薬の使用量低減・省力化：乗用除草機による雑草防除及び作業の省力化
- ③管理の省力化：遠隔水管理システムによる水管理の省力化
- ④消費者への理解促進：学校給食への有機栽培米等の提供

取組時期	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		①	②	③					④			

①自動抑草ロボット（アイガモロボ）



②乗用除草機



③遠隔水管理システム



④有機栽培米等の学校給食への提供



普及に向けた取組

今後は、実証ほ場で得られた結果を踏まえ、アイガモロボと乗用除草機の使用開始時期、期間および作業体系等を検討し、栽培技術のマニュアル化を目指す。

問い合わせ先

にかほ市農林水産部農林水産課 0184-38-4303